係会報告

○○○○○○○○○○○係会報告

― サブタイトルがあればここに記入 ―

生研太郎（大阪生物高校）　・　さくや花子（大阪植物中学校）　・
動物熊太郎（大阪動物小学校）

1. はじめに

大阪府高等学校生物教育研究会（略称　生研大阪）は，理科教育関係教職員相互の研鑽と情報交換・情報共有を目的に 1948 年に設立された。

生研大阪の創立 50 周年記念事業として，1998 年に生研大阪の公式ホームページをガリバーネット様のご支援により開設した。

生研大阪の 70 周年記念事業として，大阪動物小学校校長）がホームページのデザインから html 作成まで行い，現在のホームページの原型を作り，公開した。

理科教員で理科の教育と研究を行いながら情報処理（現在の ICT）の両方をできる人間は少なく，長らく動物熊太郎先生が担当された。

その後，動物熊太郎先生が大阪から東京へ転出され，事務局（生研太郎）が片手間に適当なホームページをアップするにとどまっていた。

事務局の交代のほか，情報の発信や研修会等の事務連絡に加え，生研大阪としての財産である会誌，報告書，教材などを広く公開するために，大阪府立高校の生物の指導教諭であり，なおかつ ICT のエキスパートである真核小胞体先生がホームページのリメイクとこまめなアップをしていただき，現在のホームページにつながっている。

2. ○○○○○○○○○○○○○○○の運用

現在のホームページの運用体制であるが，ホームページ全体は原核菌太郎先生がレンタルサーバー業者との事務処理を含めて統括をしており，会長（核酸通風先生）と中心としてホームページ係が運営を行っている。

ホームページの更新については，ホームページ全体に関わることやトップページについてのホームページ係が行い，係や部のページについては原則，係や部の担当者が担当ページの更新を行うことになっているが，係，部での対応が難しい場合はホームページ係が代行してやっている。

ホームページのディレクトリー構成については後に説明するが，係，部単位で更新ができるように，係会，部会単位でのページ（ディレクトリー）を作り，そのページを各係や部の担当者が随時更新するようにしている。

さらに，生研大阪としてのドメイン（http://seiken.sub.jp）を持っており，また，メールアカウントの発行やメーリングリストの作成もできるため，ホームページの情報を補間する目的で研究会委員内部の ML（メーリングリスト），研究会委員と関係者の ML，部会の ML など複数の ML を作成して情報交換と共有を行っている。

次に，現在の生研大阪のホームページの概要について説明する。

トップページを図 1 に示した。

3. 引用文献

生研太郎（2021）：大阪の生物はおもろい，大阪の生物教育，大阪府高等学校生物教育研究会，49，p.34～42.

4. 謝辞

本研究会の○○○係活動に関しまして，○○○○研究所○○○先生には機材ならびに運営面で多大なご支援を頂きました。紙面をお借りいたしましてお礼を申し上げます。